

社会医療法人彩樹

豊中敬仁会病院だより

2022.11 秋号

腫瘍内科外来について

腫瘍内科外来(化学療法外来)
毎週木曜日 午後(予約制)

2022年4月より、腫瘍内科外来をご担当頂いている寺澤先生に、腫瘍内科外来についてお話を伺いました。

☆腫瘍内科外来とは？

今でこそ腫瘍内科という言葉を目にするようになりましたが、10年前には大学病院にも教室はほとんどありませんでした。1980年から日本人の死亡原因の第1位はがんであり、2人に1人はがんにかかわるという時代ですので、がん治療開発に対する患者さんや社会からのニーズは非常に高いです。

このような背景から、新規抗がん剤の開発や新たな治療の組み合わせなどが毎年刷新されるのですが、一方で国内の多くの施設では、本来は別に専門がある外科や内科の先生がそのまま化学療法まで担当するのが現状です。本来の専門を維持しつつ、さらに化学療法のスタンダードをフォローするのは至難の業であろうことは、想像に難くありません。そこで、がんを専門とした腫瘍内科医が必要とされる様になり、2007年にがん治療の均てん化を目標の一つに掲げたがん対策基本法が制定され、徐々にがん治療医の育成が進んできました。しかしながら、2022年4月時点でがん薬物療法専門医という抗がん剤の専門医の資格を有する医師は全国でも約1600人と非常に少ないのが現状です。

※がん治療の均てん化

…全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図ること



☆当院での腫瘍内科外来について

当院でも本年4月から腫瘍内科外来を開設し、事前に外科の先生や内科の先生と積極的な情報交換をしてから、腫瘍内科外来でどのような治療を行うか、一人一人の患者さんに最も良いであろう治療を相談して決めています。

私の思う腫瘍内科にまず求められることは抗がん剤の専門家たることであります。具体的には、目の前の患者さんと治験や臨床試験にエントリーされた患者さんとは、背景が大きく異なることも多いので、ガイドラインで推奨されている治療をそのままその人に当てはめた時に同じような結果が期待できるかを考えなければいけません。

また、一人一人の患者さんで治療への期待は違いますし、社会的背景や体調、がんがもつ情報も違いますので、そういった情報を共有し、エビデンスをもとに総合的に最善の治療を選択することを大切にしています。

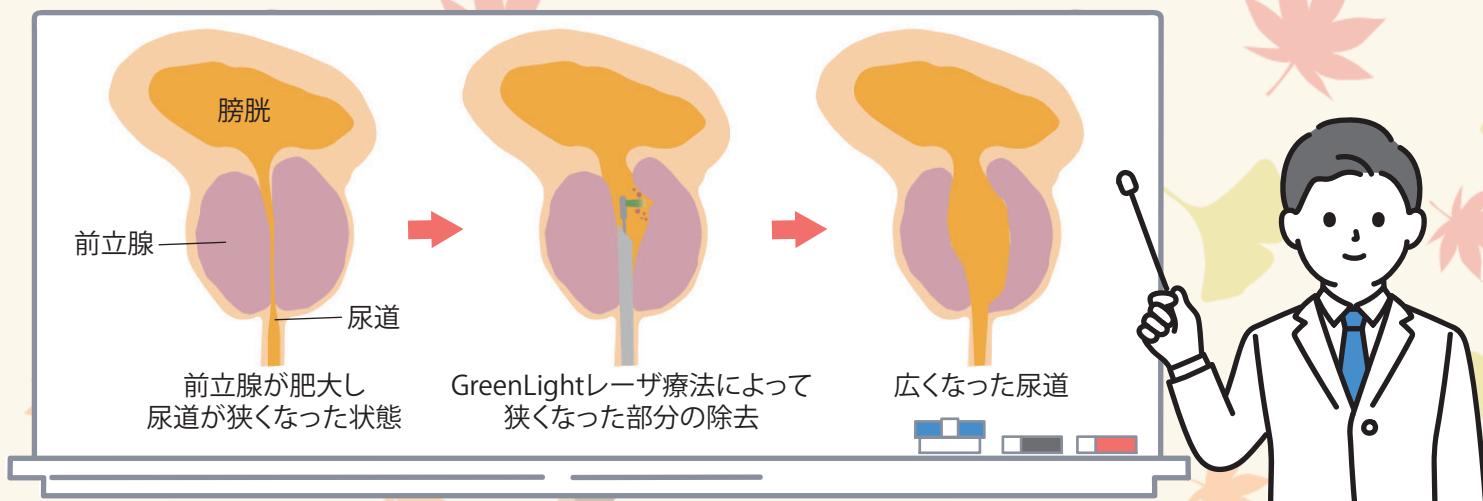
その他に他科へのコンサルトも腫瘍内科外来では大切にしています。例えば手術へ持ち込めないか、放射線治療など追加できないか、治療を休めないか、など考えることがあります。また、がんによる痛みや社会的な痛みに対する緩和ケアも重要な治療ですし、最近では高齢の患者さんが多いため、他の疾患の合併も重要な要素となります。

一方で、入院含め他の先生方が治療を担当される場合や、医療スタッフの方々に何か協力できることが無いのか、情報共有を積極的に行うことも大切な役割と考えています。これからも患者さんに最善の治療を提供できる様努めてまいります。

腫瘍内科外来担当医師
寺澤 哲志

ほとんどの男性が発症する前立腺肥大症

前立腺は、男性の膀胱のすぐ下にあり、尿道を取り囲んでいる分泌腺です。前立腺は通常、十代でクルミくらいの大きさまで成長します。前立腺重量は加齢に従って増加し、組織学的な前立腺の肥大は80歳代では約90%にみられます。そして、男性の約80%が、80歳になるまでに前立腺肥大症を発症すると言われています。肥大した前立腺は尿道を圧迫し、夜間頻尿、昼間頻尿、尿勢低下、残尿感、尿意切迫感などの症状が出現するのです。



前立腺肥大症は、良性の肥大であり、がんではありません。しかし、その症状は多くの患者様の日常生活の様々な支障をきたし、治療が必要になります。

前立腺肥大症治療のための GreenLightレーザ療法(PVP)を導入しました!

従来前立腺肥大症の治療は、電気メスを用いた経尿道的前立腺切除術(TURP)が行われてまいりました。この度、豊中敬仁会病院では、前立腺肥大症の最新治療であるGreenLightレーザ療法(PVP)を導入いたしました。

GreenLightレーザ療法(PVP)とは、内視鏡(膀胱鏡)を用いて尿道から細い光ファイバを通して行う手術です。この光ファイバから高出力レーザを照射し、前立腺組織を蒸散させることで尿路のつまり(閉塞)を取り除くという治療法です。患者さんの多くが、すぐに自然に排尿できるようになり、症状が緩和されます。PVPに用いる緑色可視レーザ光は血液中のヘモグロビンに選択的に吸収され、効率的に肥大した前立腺の腺腫を蒸散させることができるため、PVPは出血のリスクが少なく、抗凝固剤使用下においても服薬を休止等せずに安全に施行することが可能です(日本泌尿器科学会ガイドライン:推奨グレードA)。

また、勃起障害(ED)などの性機能障害に影響せず、逆行性射精などの射精障害の発生頻度を抑制させることができるため、すでに世界で90万例以上の実績があります。PVPは、副作用が少ないだけでなく、伝統的な手術療法である電気メスを用いた経尿道的前立腺切除術(TURP)と同等の有効性が得られます。

入院については患者さんの状態によって状況は様々ですので、担当医にお尋ねください。



© 2022 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

○【一言】

- 当院では前立腺肥大症に対する手術加療を主に行っております。
- 地域の皆様に貢献できますよう精進致しますので何卒よろしくお願い申し上げます。

○【マイブーム】

- 週末にはゴルフに出かけることが多いです!

○【出身地元の自慢】

- 出身は宝塚市で当院から20-30分程度の場所です。若者は少ないですが、自然が多くきれいなところですよ。

令和4年10月入職



なかむら こう
中村 公

新入職医師紹介
(泌尿器科)

新入職スタッフ紹介(7~10月)

3 階病棟看護師 OP室看護師 外来看護師 臨床工学技士



4 階病棟看護師



これからもスタッフ一同、
安心の医療が提供できるよう
努力してまいります。

看護部長
大岸 英子

3 時のおやつに!

新食感 大学芋

2人前 260kcal

〈材料〉

さつまいも	150g
上白糖	12g
水	小さじ1
油	適量

ポイント

さつまいもはホクホク系、
ねっとり系、しっとり系の
3種類があります。
大学芋にはしっとり系が
おすすめ!

〈作り方〉

1. さつまいもを一口大に乱切りし、水に5分程度つける
 2. 水気を切り、ラップをしてレンジで5分チンする
 3. フライパンに油をひき、弱火で加熱していく
 4. 焼き色がついたら、余分な油をペーパーで拭き取る
 5. 中央に上白糖と水を入れ、沸騰してきたらさつまいもと絡めていく。
 6. 水気がなくなる手前で火を止め、水分を飛ばすように揺する
 7. 上白糖が結晶化してきたら完成!
- ※ 熱いところに置いておくと、上白糖が溶けてしまうのでクッキングシートの上などに移動させること。

砂糖を結晶化させることで
ザクザクとした食感が楽しめます♪





連携医紹介

野田げんきクリニック

<https://noda-genki.com/>

☎:06-6845-3700



当院は、平成21年10月に豊中市南桜塚の国道176号線沿いに新規開業致しました。以来、内科、消化器内科、検診、および、予防接種等を行っています。上・下部消化管疾患の早期発見には、内視鏡検査が不可欠なことから、鎮静下胃・大腸内視鏡検査を積極的に導入し、苦痛の少ない内視鏡検査の実践に努めてきました。令和元年の大規模改修では、最新の上・下部内視鏡を導入し、大腸内視鏡検査の前処置も自宅と院内を選択可能に致しました。しかしながら、開院13年を迎え、かかりつけ患者様も高齢化し、外来検査困難例が急増してきました。地勢的に市立豊中病院に紹介することが多いのですが、消化管疾患では豊中敬仁会病院様に助けて頂く症例が増えています。実際、消化器外科様には、令和4年1月から10月までに、ロボット手術センターでの低侵襲大腸癌手術を2件、難治性再発性大腸憩室炎の腹腔鏡手術を1件、急性胆石性胆嚢炎の腹腔鏡下胆嚢摘出術を1件、施術いただきました。また、消化器内科様には、急性腹症、上・下部消化管出血や、外来検査困難な高齢者の大腸内視鏡検査入院でいつも大変お世話になっております。引き続き、消化管救急、上・下部ESD治療、腹腔鏡下手術やロボット支援下鏡下手術でのご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

院長 野田 勝久

千里ペインクリニック

<https://www.senri.or.jp/>

☎:06-6856-1371



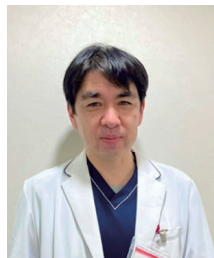
2004年6月に千里中央朝日阪急ビル内で開業いたしました。ペインクリニック外来と在宅ホスピスを専門に活動しております。2011年少路に移転し、併設する介護施設「アマニカス」を立ち上げました。ペインクリニック外来、訪問診療と共に、アマニカスでは、緩和ケア、痛みで介護や集中的治療が必要な方、胃ろうや脳梗塞後の方、ご高齢で一人暮らしができない方などサポートしております。豊中敬仁会病院には、検査を始め、様々な「困ったとき」に頼りになる病院としてお世話になり、大変感謝しています。豊中敬仁会病院に一番近いクリニックとして、良い連携ができるよう努めてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

院長 松永 美佳子

医療法人仁泉会MIクリニック

<https://www.jinsen-pet.jp/>

☎:06-6840-0100



当院は2005年11月にモノレール少路駅の東に、PET-CT・MRIを中心とした、画像診断専門クリニックとして開院しました。装置は常に最新のものに更新し、高い技術と専門医による診断で地域医療連携に貢献します。また、がんの早期発見を目的とした各種がん検診と脳ドックにも取り組んでいます。特に、乳房専用PETと組み合わせた乳がん検診は、早期発見を可能としました。

院長 岡田 篤哉